

何事も、最後まで あきらめないで、伊藤みどりトークショー

四月十一日、アルペールビル五輪銀メダリストの伊藤みどりさんと、コーチの山田満知子さんのトークショーが、カルチャーセンターで行われました。これは白根ロータリークラブが創立三十周年を記念して開いたもの。BSNアナウンサーの鎌富徹さんの軽妙な司会で、オリンピックの思い出や近況などを楽しく語ってくれました。八十九年の世界選手権で優勝するなど、世界の頂点を極めた伊藤みどりさん。「子供のころはスケートが楽しく、三度の食事よりも楽しみだった」と話します。そんなみどりさんも、小学五年生ころからは、さぼりたいという気持ちが出てきたと打ち明けます。

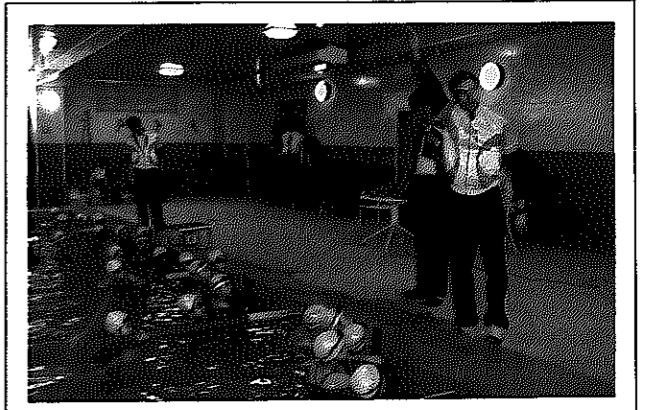


公私ともに伊藤さんを支えた山田コーチは「百年に一人出るかないかという、素晴らしい能力を持った子が、たまたま私のところに来た。それを花開かせなければ、罰が当たると思った」と振り返ります。「毎日けんかでした」と笑う二人ですが、強い信頼関係がメダルにつながったとも。「大会の前は緊張で食事もできないくらいでも、コーチの一言で緊張もほぐれる」とみどりさん。オリンピックでは金メダル候補と騒がれ、必要以上に自分自身でプレッシャーをかけてしまったと振り返ります。「山田先生と巡り会わなかったら、ここまで来れなかったと思う。途中でやめないうで本当に良かった。これを踏み台にして、これから頑張りたい」と話すみどりさん。スケートのホーズだけでなく、という要望に、ジャンプやフライングのホーズを披露し、会場から盛んな拍手を浴びていました。



金メダリストの指導に感激 池田スイミングクラブ

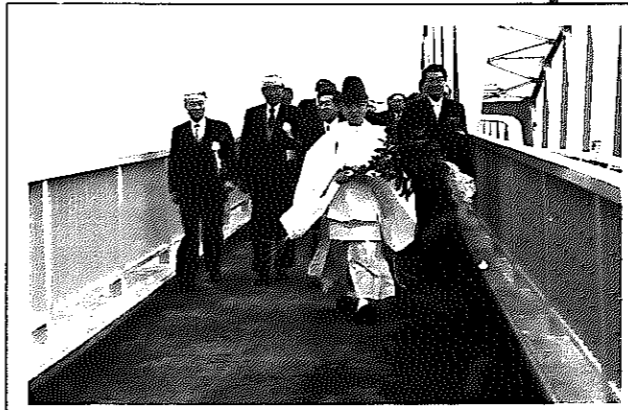
ソウル五輪千五百斤自由形金メダリストのウラジミール・サルニコフ氏(ロシア)が四月六日、池田スイミングクラブ白根校を訪れ、三十人の子供たちに水泳指導を行いました。これは水泳技術の向上のために同クラブが招いたもの。世界のトップ・スイマーの指導を目の当たりにできるとあって、会場には二百人を超える市民が見学に訪れました。「水に落ちたときに命を守るためにも、ぜひ水泳に親しんでほしい」と話すサルニコフ氏。指導の後に泳ぎを披露し、子供たちからは「すごい」と歓声が上がっていました。



安全に渡れるよ

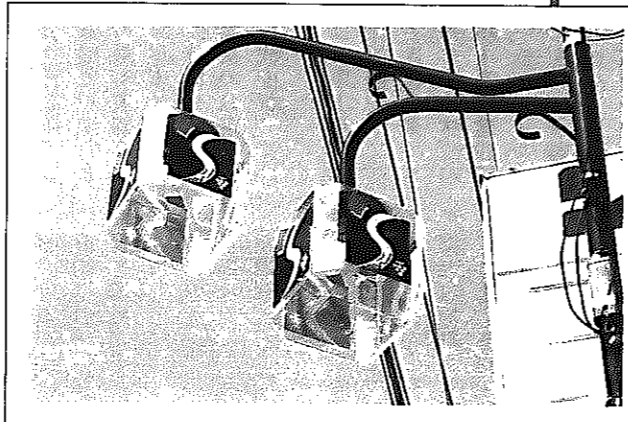
小須戸橋
歩道橋完成

信濃川に架かる小須戸橋に待望の歩道橋が出来上がり、三月二十五日、完成式が行われました。完成した歩道橋は長さ二百四十四メートル、幅員二・五メートル。二億八千五百万円の事業費で、平成元年から県の四カ年継続事業として建設されていたものです。昭和三十八年に建設された小須戸橋は、小須戸中学校への通学や地域の生活道路として多くの人が利用していますが、幅員六メートルと狭く、交通安全上の問題が指摘されていました。完成式では関係者や小須戸小学校の鼓笛隊が渡り初めを行い、歩道橋の完成を喜び合いました。



ライトアップでイメージアップ 新飯田 商店街

新飯田商店街にいきな街路灯が登場しました。同商店街の目抜き通り約六百メートルを中心に設置され、基数は四十九基。夜の街をあでやかに照らしています。各基が八十ワットの水銀灯二灯でできっており、デザインはマイタウンしろねのシンボルマークをあしらったいきなもの。同商店街が街の活性化を目的に、県市の補助を受けて設置しました。「街がぐんと明るくなりました。とてもきれいですね。商店街のイメージアップになります」と肉屋のお母さん。今後、十一基の増設が予定されています。



ほんぼりの光で夜桜見物 白根 観桜会

白根の街で夜桜見物を楽しんでもらおうと、白根児童公園と水道公園にほんぼりが設置され、大勢の花見客の目を惹きました。

このほんぼりは白根商工会白根支部を中心に今年発足した白根観桜会(笹川喜一郎会長)が、花の名所を街の活性化に役立てようと設置したもの。市内事業所の寄付を募り、百六十本のほんぼりが立てられました。四月三日の点灯式以後、あいにくの低温で開花は例年よりやや遅れたものの、「花よりだんご」は世の常。不景気を吹き飛ばせとばかりの人の輪が、そこそこ広がっていました。



河川改修工事の完成を祝う 鷺巻 桜町

鷺巻桜町では河川改修工事の完成祝賀会を、三月二十八日、同町内集会所で行いました。これは昭和五十九年度に着手した「中ノ口川合流点処理事業」が四年度で完了したことを祝うもの。同事業では、中ノ口川の護岸築堤工事と鷺ノ木水門の建設などが行われました。品田栄一町内会長は「河川改修のため、二十四戸の家屋移転を余儀なくされたが、皆さんの努力と協力で、無事に事業が完了できた」とあいさつ。「川と調和した桜の名所として、さらにこの地域を発展させよう」と決意を新たにしていました。



「注意んガム」で安全運転 春の交通 安全運動

春の全国交通安全運動が始まった四月六日、新飯田の国道8号で交通指導所が開設されました。この日、交通指導に参加したのは、市長はじめ市交通安全協会、白根警察署、交通安全母の会など関係者約四十人。交通安全標語入りの「注意んガム」やティッシュを手渡ししながらドライバーに安全運転を呼び掛けました。約一時間の開設で指導所を通過した車は約九十台。「シートベルトを締めて安全運転をお願いします」と声を掛けながら配布物を手渡すと、ドライバーたちは思わぬプレゼントに顔をほころばせていました。

